

# 仏事コーディネーター 資格取得者を訪ねて

## BUTSUJI-COORDINATOR

……若林佛具製作所 京都本店……

### 「資格の可能性を感じています」

## 島田美知代氏

若林佛具製作所は全国八ヶ所（京都本店・東京店・築地店・札幌店・仙台店・近江草津店・福岡営業所・新潟営業所）を拠点に展開。創業は天保元年（一八三〇）、長い歴史に培われた同社の心温まるサービスはこれまで多くの顧客、御寺院に親しまれてきた。創業以来変わらぬ一貫した仏壇・仏具作りの精神は厚く深く、その情熱と気質は現在でも同社を支える原動力となっている。

今回、取材に御協力いただいた島田美知代氏は京都府出身、大学卒業後、同社に入社。実家が京都府にあり、子どもの頃から同社の前をよく歩いたという。大人になってからまさかここに入社するとは思ってもみなかったと話す。同社を選んだ理由は、自宅から近かったことや、仏教系の学校に通っていたことも影響している。

現在、同社の仏事コーディネーター資格取得者

は十一名（平成二十四年九月）を数え、女性スタッフは島田氏を含め二名。資格の重要性を早くから感じており、仏事コーディネーター資格に対する思いが強かったと島田氏は語る。

受験当日は比較的、リラックスした気持ちで臨めたという。受験前は仕事の合間をぬって学習を続けたが、周囲の協力や励ましも大きな力になっている。学習については自主性にまかせており、



島田美知代氏（若林佛具製作所 京都本店）



若林佛具製作所  
京都本店外観

現場で身につけた体験や知識が受験に活かされていると感じるのは島田氏のみならず同社スタッフ共通の思い。資格の活用に関しては、同社では主にスタッフのスキルアップや学習に役立てており、実際、ビジネスの各場面でガイダンスで学んだ知識が活用されている。島田氏のポジションは仏壇部チーフ。主に接客、販売、さらに仏事の相談など多岐に及んでいる。また、昨年四月から今年一月まで親鸞聖人七百五十回大遠忌法要が行われたが、他のスタッフと共に東本願寺、西本願寺などに赴き、書籍やグッズの販売の手伝いも行った。

年間を通して多忙なスケジュールの中、仏事コーディネーター資格やガイダンスで培った知識を有効に活用し、今後も研鑽を深めていきたいと島田氏は話す。今年も同社では仏事コーディネーター資格の受験者を募っており、多くのチャレンジが望まれる。